

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(23年7月分)

1. 調査実施期間 平成23年 6月20日 ~ 7月10日
2. 調査実施方法  
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
7月分の回答企業数は37社、回収率は88.1%である。
3. 判断指数の算出方法  
各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		23/7月	8月	9月
仕入動向	国産材	-28.6	-18.5	-3.7
	外材	-18.6	-14.3	1.4
販売動向	国産材	-25.0	-17.9	-1.8
	外材	-21.4	-12.9	-2.9
在庫動向	国産材	-19.6	-12.5	-3.6
	外材	-17.1	-8.6	0.0

仕入れは国産材、外材ともマイナス基調だがマイナス幅を縮め、外材は秋に向けプラスに。  
販売も国産材、外材ともマイナス基調でマイナス幅縮めるも弱含み。  
在庫は、国産材、外材ともマイナス幅を縮小。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	23/7月	8月	9月
スギ正角(グリーン)	-10.5	-10.5	-2.6
スギ正角(KD)	-15.0	-10.0	-2.5
ヒノキ正角	-4.8	-4.8	0.0
ヒノキ土台角	-4.5	-2.3	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-4.8	-2.4	2.4
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	2.5
米ツガ割物(現地挽)	-2.4	0.0	0.0
米マツ平角	-2.6	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	0.0	-2.4	0.0
ホワイトウッド集成管柱	-15.9	-6.8	2.3
レッドウッド集成平角	-8.8	-5.9	-2.9
型枠合板(国産)	-14.7	-8.8	-8.8
型枠合板(輸入)	-2.8	-2.8	-2.8
針葉樹合板	12.5	0.0	0.0

スギ正角(グリーン、KD)は弱含み、ヒノキ正角、土台はやや弱含みないし保ち合い。  
米ツガ正角(現地挽)、土台角、割物ともやや弱含みないし横ばい。  
米マツ平角はやや弱不気味ないし横ばい。  
北洋アカマツタルキは、落ち着き、ほぼ横ばい。  
WW集成管柱、RW集成平角とも弱含みだが、マイナス幅縮小。  
合板は、輸入品が大量入荷したこともあり、型枠は国産、輸入ともマイナス基調、針葉樹は、荷が出てきたが、厚物は一部で品薄感があり、やや上昇し高値横ばい。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>久しぶりの入荷で賑わっているが、当用買いの傾向は変わらず。(東京:米材問屋) ベイマツ一般材丸太は米材 6月積み輸出価格は据え置きとなったものの、カナダ材 FAS はオールドグロス材で引き続き強含みとなっている。中国の買いは一時の勢いはないものの白物丸太の買いは衰えていない。(東京:米材問屋)</p> <p>産地価格は高止まり下げの気配全くなく、国内価格との差大きく仕入れ難しい。(東京:南洋・中国材問屋)相変わらず新規入荷非常に少ない。(東京:南洋・中国材問屋)入荷は若干だが増えている。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>7月決算のため今月の仕入れは当用買い。在庫減らす。(東京:外材問屋)当月の夏期セールのため仕入れ増。(東海:外材問屋)</p> <p>需要減少、先行き不透明。仕入れ減少。(東京:国産材問屋)良い物は積極的に仕入れている。(東京:国産材問屋)</p> <p>アカマツ CTBKD のタルキが手当できない。(東京:国産材問屋)</p> <p>仕入れは控目。(東京:仲買) ラーチ以外は問題なく入荷。ラーチも少量であれば、どこかしらの問屋が持っているので慌てることはなくなった。(東京:仲買・小売) 減らしている。(東京:仲買・小売)</p>
販売動向	<p>売値は通るが、単位が小さい。(東京:米材問屋) ベイマツ丸太は京浜マーケットではメーカーの丸太消費進まず、問屋の新規成約は厳しい状況。内陸の小手メーカーは地元のスギ製材に切り替えており問屋の丸太販売に明るさ見えてこない。(東京:米材問屋)</p> <p>顧客により仕事の有無がはっきりしている。一般的に仕事少ないのか相見積もり多い。(東京:南洋・中国材問屋) 小口対応のみ。(東京:南洋中国材問屋) 6月の荷動きは悪かったが、7月に入り見積もり増えている。夏休み、盆明けの仕事が目立つ(東京:南洋中国材問屋)。</p> <p>7月、8月とも売り上げは減少すると思われる。(東京:外材問屋) 6月は予想以上に多く販売できた。7月も続けたい。(東京:外材問屋) やや増を見込む。(東海:外材問屋)</p> <p>7月に入り若干ではあるが見積もり増えてきた。(東京:国産材問屋) スギ KD 構造材引き合いは減、外材ホワイトウッドはビルダーの新規物件で増。(東京:国産材問屋) スギ柱は動き悪く弱い。(東京:国産材問屋)</p> <p>5月が非常に悪く、その分6月にずれ込んだ様子。流れとしては、あまり良くない。(東京:仲買) 荷動きはとにかく細かい。月半ばから始まる現場待ちで本当の動きはこれから。(東京:仲買) 夏場にかけて仕事量が減っており従来の大工、工務店に仕事がない。(東京:仲買・小売) 平常通り。(東京:仲買・小売) 需要迫力なく、早々夏休み状態。(東京:仲買・小売) 売り上げ減少で推移、なんとか盛り返したい。さもないと仕入れから在庫まで縮小となる。(東京:仲買・小売)</p> <p>不足していた建材は出回り出したがまだ景気は低迷中。(大阪:仲買小売) 7月は仕事(現場) 少なくひまになりそう。(大阪:仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>役物が倉庫に入らない程、輸入建材の入荷が多く、荷傷みの懸念が出ている。(東京:米材問屋) 京浜港では、5月、6月と米マツ丸太本船入荷ないものの、4月の大量入荷分が問屋の大きな在庫負担となっている。(東京:米材問屋)</p> <p>入荷に対し、出荷少ないので在庫は増えている。(東京:南洋・中国材問屋) 入荷量は全般的に少ないまま。(東京:南洋・中国材問屋)。</p> <p>決算時期で、相場も弱いいため在庫圧縮。(東京:外材問屋)</p> <p>輸入材の入荷順調で6月よりやや増加傾向。(東海:外材問屋)</p> <p>仕入れ増えず、在庫減少。(東京:国産材問屋)</p> <p>減らしている。(東京:仲買・小売) 災害後増やしていた在庫も平常時の状況に戻りつつある。(東京:仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>内地材丸太ははっきり弱い。製品価格に影響するのは秋(?)。(東京:国産材問屋) スギ KD 構造材は産地在庫増、引き合い減。相場は完全に弱含み。(東京:国産材問屋)</p> <p>特に動きは聞かない。(東京:仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変化なし。(東海:外材問屋) 特に動きは聞かない。(東京:仲買・小売)</p>
米ツガ	<p>一般ルートの販売が月を追って悪くなっている。(東京:外材問屋)</p> <p>使用量少なく変化なし。(東海:外材問屋)</p>
米マツ平角	<p>売れ行き不振でレッドウッド集成材が弱いため少々値下がり気味か。(東京:外材問屋)</p> <p>変化なし。(東海:外材問屋)</p>
北洋アカマツ タルキ	<p>他の樹種への切り替えも見られ需要も落ち着き横ばい。(東海:外材問屋)</p> <p>30×40は上昇が止まった様子。栈木、加工胴縁は強い。品物は相変わらず少ない。(東京:仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>需要がなかったため下げ相場、仕事が出れば上がる可能性あり。(東京:外材問屋)</p> <p>レッドウッド集成材が需要少なく少々値下がり気味。(東京:外材問屋)</p> <p>WW 管柱国内 1,720~1,730 円/本、輸入 1,740 円/本、RW 平角 58,000 円/m3 前後でやや弱含みもほぼ横ばい。(東海:外材問屋)</p>
合板	<p>エコポイントの打ち切りで7月末以降需要増を予想、価格高値横ばいからやや上昇予想。(東海:外材問屋)</p> <p>これから下落局面、底値はどの辺で止まるか。(東京:仲買) ラワンは下がり始めた。針葉樹は一部でまだ上昇が続いている。(東京:仲買・小売)</p> <p>価格横ばい、厚物は品薄。(大阪:仲買)</p>